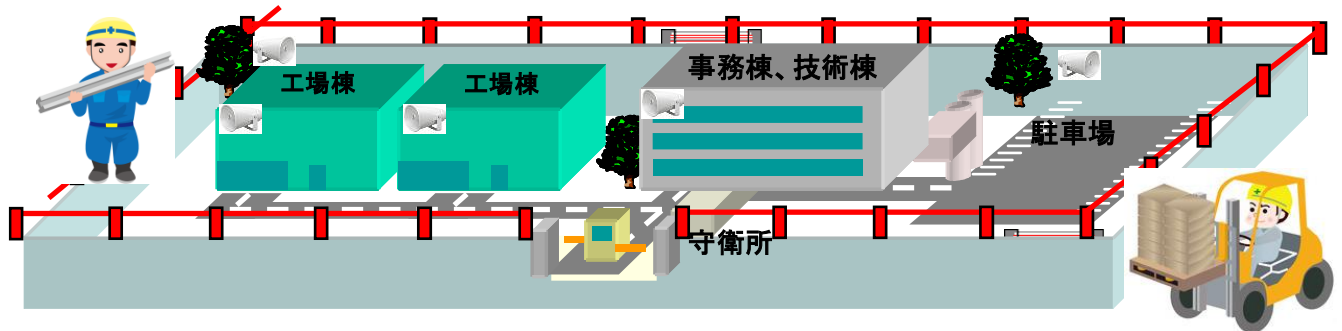


放送内容を聞き取りやすくしたい。

【導入目的】

1. 放送内容が聞き取りにくい箇所が多いので、スピーカーを設置し、どこに居ても、放送内容が聞こえるようにする。
2. 緊急時や災害時に、作業員を誘導できるようにする。



作業手順と音量測定結果イメージ

1. 事前調査で、各計測ポイントの通常騒音レベルと放送出力レベルを計測し、通常騒音レベルと放送出力レベルの差を元に、スピーカー設置位置を判断。
2. スピーカーの設置が必要と判断した位置にスピーカーを設置後、通常騒音レベルと放送出力レベルを計測。騒音レベルと放送出力レベル差が10dB以上で良好と判断。

測定場所	屋外スピーカー増設前 計測値と出力差			屋外スピーカー増設後 計測値と出力差			結果 (騒音レベルと出力レベル の差が10dB以上で良好)
	騒音レベル (通常時)	出力レベル (音声放送中)	騒音, 出力 レベル差	騒音レベル (通常時)	出力レベル (音声放送中)	騒音, 出力 レベル差	
1	55	90	35	55	90	35	良好
2	53	80	27	53	90	37	良好
3	59	80	21	63	85	22	良好
4	72	75	3	65	95	30	良好
20	66	72	6	66	90	24	良好
21	71	71	0	65	83	18	良好
22	78	78	0	80	81	1	屋外スピーカー 増設対象外 (配線ルート無の為)

Point !

1. 測定器を用いて各エリアの音量を測定することで、聞き取り易い場所、聞き取りにくい場所を判断し、スピーカー設置場所をご提案いたします。